

関連用語集

- 化学的酸素要求量（COD）

水中の有機物を酸化剤で酸化する時に消費される酸素の量で、海域・湖沼で環境基準値が定められている。この値が大きいほど、汚濁の程度も大きい。
- 窒素・りん
窒素・りんは、それぞれ栄養塩類として、植物プランクトンの増殖には不可欠である。
水の交換が少ない閉鎖性水域においては、生活排水や工場排水等により、水中の窒素やりんなどの栄養塩類が増え、プランクトン等が増殖しやすい状態（富栄養化）となる。
水域の富栄養化により、水中の植物プランクトンが異常に増殖して、水の色が赤褐色や茶褐色に変色することを、赤潮という。
また、閉鎖性水域において植物プランクトンの増殖（光合成）により有機物が生産されることを、内部生産といい、CODの濃度上昇の要因にもなりうる。
栄養塩類の水域への流入量を削減することにより、富栄養化や内部生産が抑制される。
- 汚濁負荷量
陸域から排出されるCOD、窒素及びりんの汚濁物質の総量。汚濁負荷量＝汚濁濃度×排出量で計算する。
- 干潟
干潮時に現れる砂泥質の平坦な場所。プランクトンなどの微生物や多種多様な生物の生息の場となり、海水を浄化する機能がある。
- 藻場
沿岸浅海域で、大型の海草が濃密に繁茂し群落を形成している場所。魚の産卵や成育の場として重要な役割を果たしている。
- 遮集管
合流式下水道において、合流下水管を通じて集められた汚水及び雨水を、終末処理場へ送水するための配管。
晴天時の汚水及び降り始めの雨水など一定規模の量については、遮集管を通じて全て終末処理場へ送水されるが、強い雨が降ったときなど、遮集管の容量を超えた場合は、公共用水域へ放流される。
- 社会資本整備重点計画
社会資本整備重点計画法（平成15年法律第20号）に基づき、国民生活・産業活動の基盤を形成する社会資本の整備の方向性について、国が示した計画。
- 漁場改善計画
養殖漁場環境の維持・改善を通じて持続的な養殖生産を確保するため、漁業者自らが対象となる水域及び養殖の種類を定め、施設や体制の整備などを図るための計画。持続的養殖生産確保法（平成11年法律第51号）の規定に基づき、都道府県知事の認定を受けることができる。